

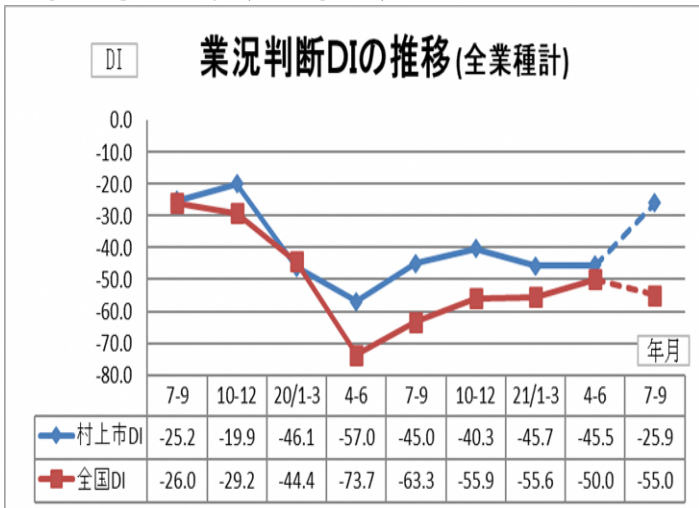


# 村上市 景況調査報告

〈令和3年4-6月期の実績・令和3年7-9月期の見通し〉

## 『新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況』

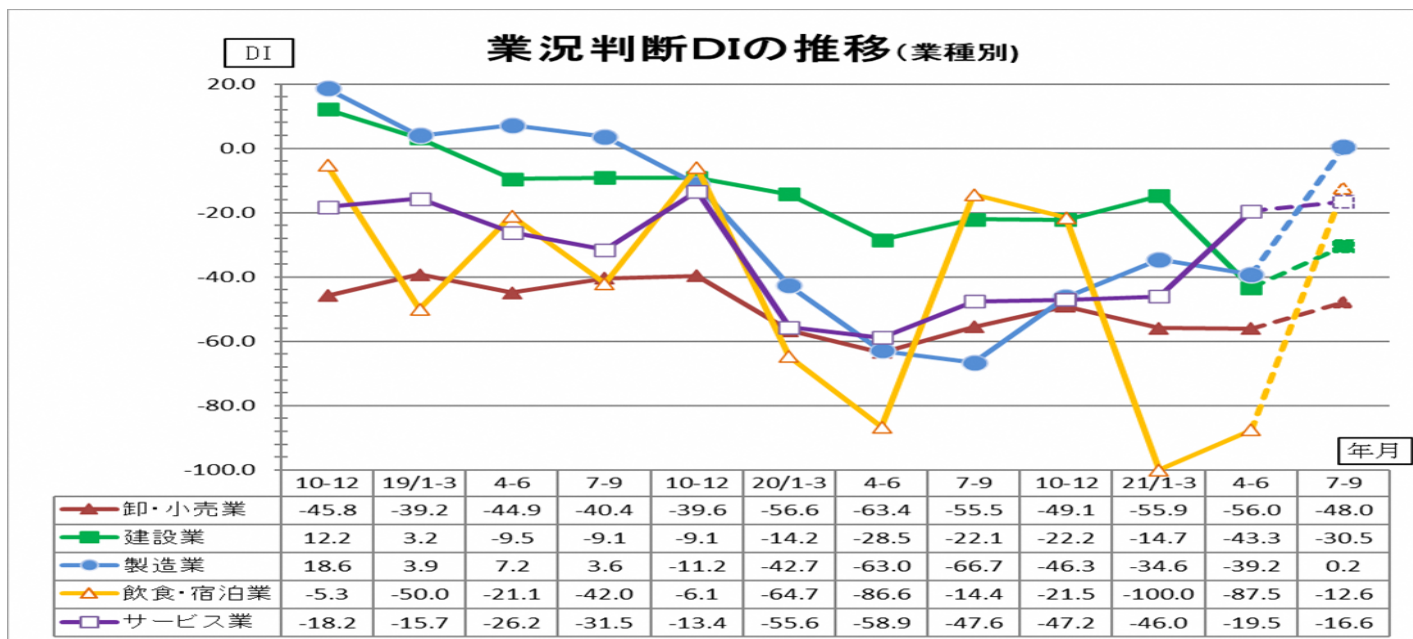
### ■村上市の業況(全業種計)



今期(4-6月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(1-3月期)と比べ0.2ポイント上昇し▲45.5となった。前期における今期予測(▲37.8)より7.7ポイント低下し前年同月比では11.5ポイント上昇した。全国DIは5.6ポイント上昇し▲50.0となった。

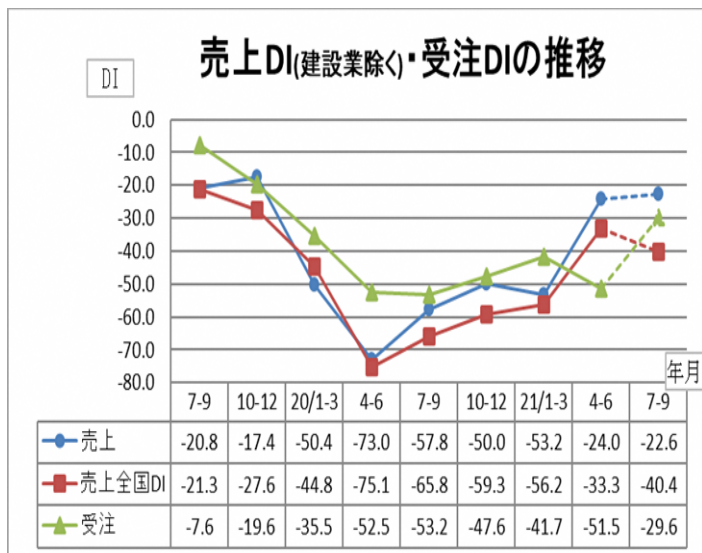
来期(7-9月期)については、19.6ポイント上昇し▲25.9となる見通し。全国DIは5.0ポイント低下し▲55.0となる見通し。

新型コロナウイルスの影響は引き続き大きい。調査報告のコメントを見ると6月頃から持ち直してきている傾向も見受けられる。ワクチン接種も順調に進み、早期に上向いていくことを期待したい。



### ■各業種の動向

<b>卸・小売業</b>	例年と比べると売上は悪いが、ワクチン接種が進み少しずつ良くなってきているとのコメントもある。しかし、イベントや旅行が減少したままなので、まだまだ厳しいコメントが多い。 前期の業種別DIの落ち込みが激しかったことから大きく持ち直す見通しではあるが、ワクチン接種が早期に進むことで、人の動きが徐々に活発化し、みんな前向きになって欲しいとの期待が多い。	<b>飲食・宿泊業</b>	市内では4・5月と感染者が多く発生したものの、緊急事態宣言も解除され、6月の市内感染者は、1名しかいなかったことから期待していたが、思うように伸びなかった。 見通しとしては、ワクチン接種が進んでいることには期待があるが、更なる緊急事態宣言の発令により、お盆の帰省減少などで、例年トップシーズンであるこの夏の売上は期待できない。反面、GoTo事業や県民割などの施策効果の期待により、DIは大幅な上昇に転じる見込み。	
<b>建設業</b>	受注額が減少しているとのコメントがかなり多い。要因としては、資材高騰、競争激化など悪材料が重なっている。 見通しとしては、村上市のリフォーム補助金を利用した受注工事がある程度完了したため、受注が減少するとの見方もある。	<b>サービス業</b>	観光バス・クリーニング業・自動車修理業では、前年と比較すると売上は増加している。測量業では4・5月と受注がない時期があったが6月に入り受注がでてきた。ところが、祭事の売上割合が多い染色業では2年続けて村上大祭が中止となり大打撃。村上大祭は中止となったが、今後それ以外の祭関係が少しでも開催されていくことを期待したい。 見通しとしては、6月から良くなってきている業種も見られるが、サービス業全体では「見通せない」というコメントが多い。	
<b>製造業</b>	全体として受注量の低下、納期の先送り、製材業ではウッドショックによる仕入単価の上昇などの要因があり、DIは低下したと思われる。 見通しとしては、DIではかなり改善する見込みであるが、コメントでは良くなるという意見は見受けられない。			

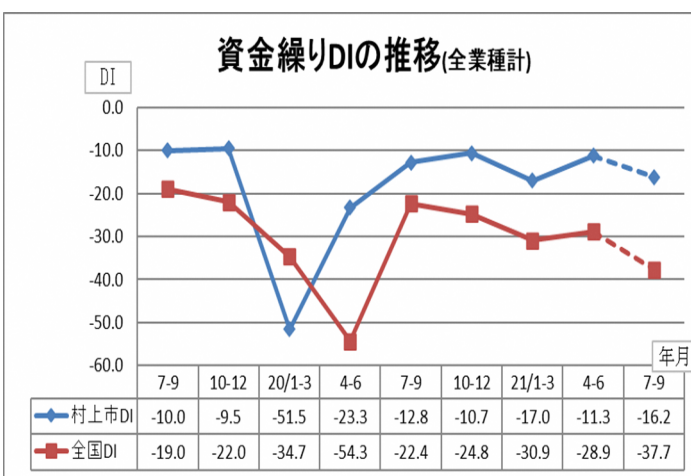
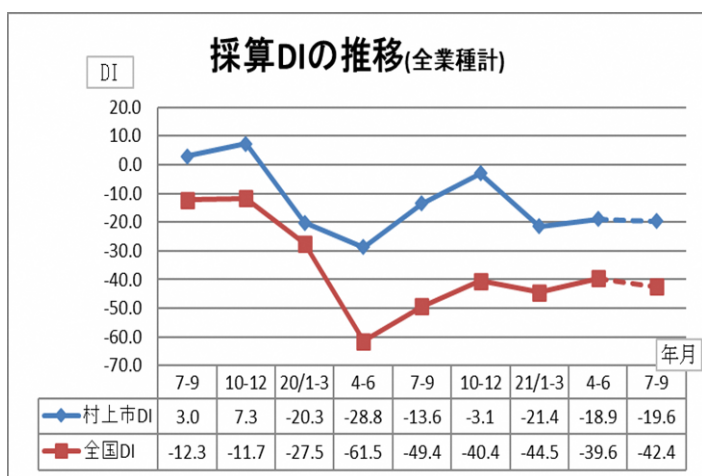


今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、29.2%上昇し▲24.0となった。前期における今期予測(▲46.8)より22.8%上昇し前年同月比では49.0%上昇した。全国DIは22.9%上昇し▲33.3となった。来期については、1.4%上昇し▲22.6となる見通し。全国DIは7.1%低下し▲40.4となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、9.8%低下し▲51.5となった。前期における今期予測(▲37.2)より14.3%低下し前年同月比では1.0%上昇した。来期については、21.9%上昇し▲29.6となる見通し。

【受注DIの内訳】

	前期	今期	来期
・建設業	▲35.3	▲59.5	▲45.9
・製造業	▲50.0	▲40.8	▲7.4

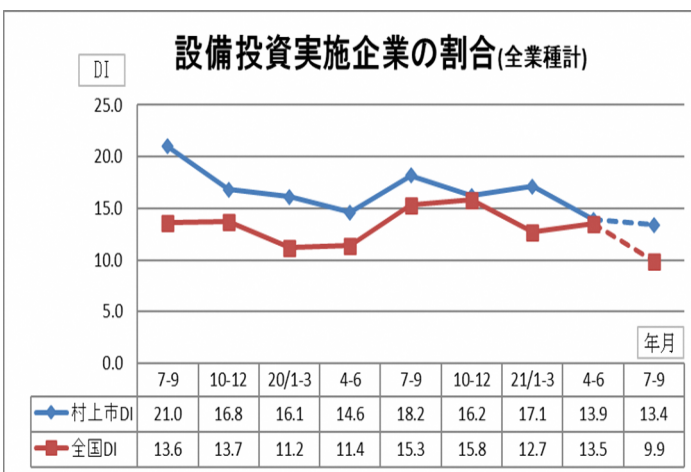
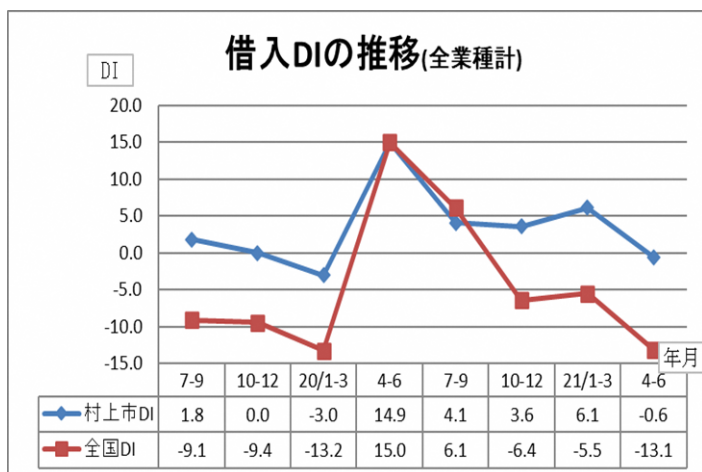


今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、2.5%上昇し▲18.9となった。前期における今期予測(▲24.9)より6.0%上昇し前年同月比では9.9%上昇した。全国DIは4.9%上昇し▲39.6となった。

来期については、0.7%低下し▲19.6となる見通し。全国DIは2.8%低下し▲42.4となる見通し。

今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、5.7%上昇し▲11.3となった。前期における今期予測(▲16.6)より5.3%上昇し前年同月比では12.0%上昇した。全国DIは2.0%上昇し▲28.9となった。

来期については、4.9%低下し▲16.2となる見通し。全国DIは8.8%低下し▲37.7となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、6.7%低下し▲0.6となった。全国DIは7.6%低下し▲13.1となった。

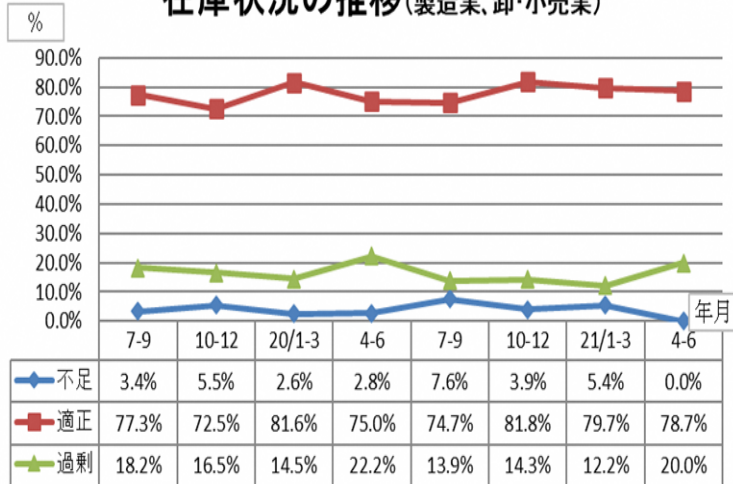
【借入DIの内訳】

	前期	今期
・容易になった	6.7%	→ 3.0%
・変わらない	35.2%	→ 32.5%
・難しくなった	0.6%	→ 3.6%

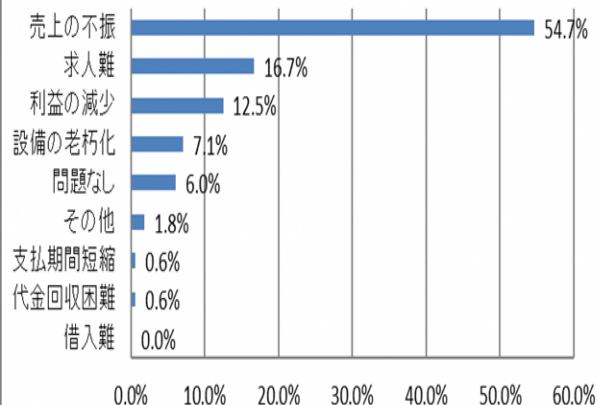
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、3.2%低下し13.9となった。前期における今期予測(12.2)より1.7%上昇し前年同月比では0.7%低下した。全国DIは0.8%上昇し13.5となった。

来期については、0.5%低下し13.4となる見通し。全国DIは3.6%低下し9.9となる見通し。

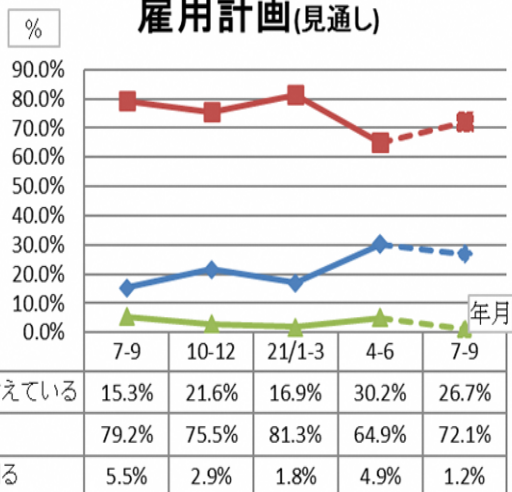
## 在庫状況の推移 (製造業、卸・小売業)



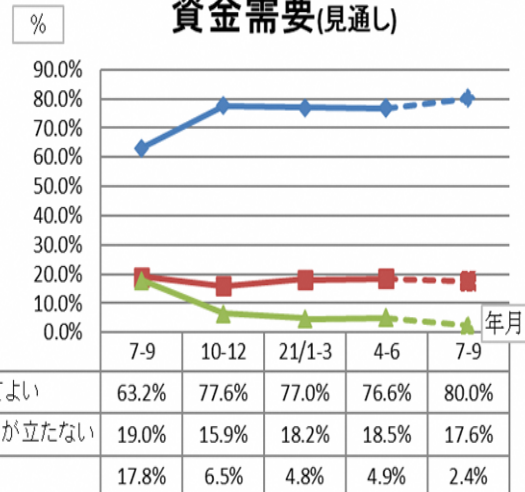
## 経営上の問題点



## 雇用計画 (見通し)



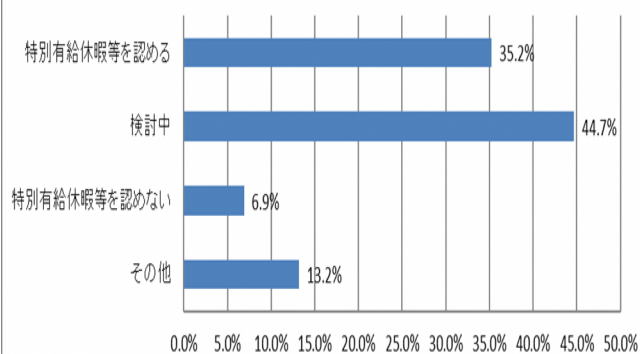
## 資金需要 (見通し)



## 新型コロナウイルスのワクチン接種について

従業員の方がワクチンを接種しやすいように、接種日や副反応が出たときに特別有給休暇等を認めている企業が増えていますが、ワクチン接種の際の特別有給休暇等への対応について教えてください。

### ワクチン接種の特別休暇について

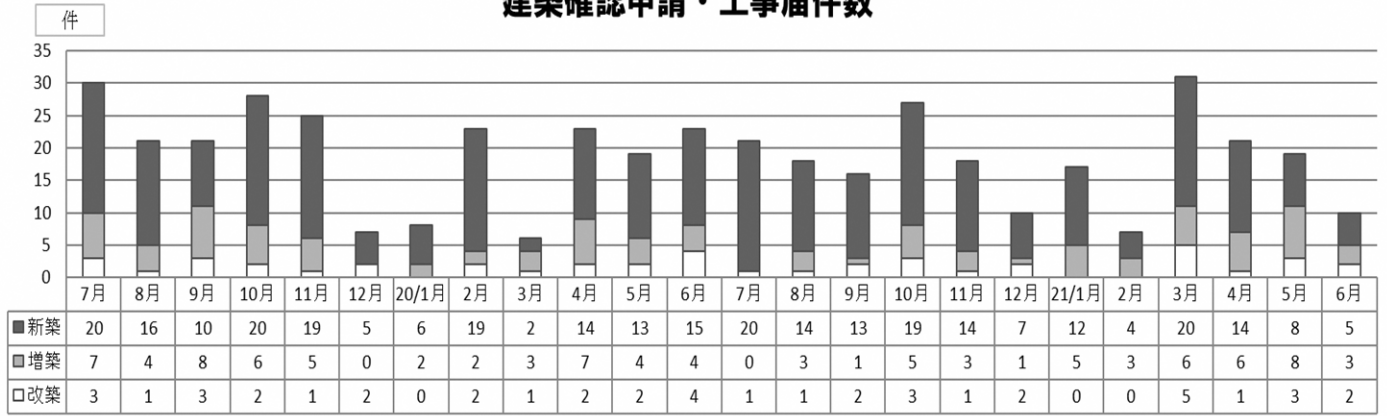


### 【その他の具体例】

卸・小売業	少人数のため、中々休暇は取れない。有給休暇で対応。家族経営や一人のため関係ない。特別有給休暇導入補助金があれば。
建設業	なるべく休日に接種できるようにしたい。ワクチンの接種は業務中に行ってもよいことになっている。副反応が出たときは決めてはいいないが、特別休暇とする事を検討する。
製造業	普通の有給休暇を取ることとしている。
飲食・宿泊業	家族経営なので有給休暇の有無関係ない。
サービス業	通常の有給休暇対応予定。家族経営で問題ない。接種は終了したが接種翌日を週休に振り替える等の対応をした。

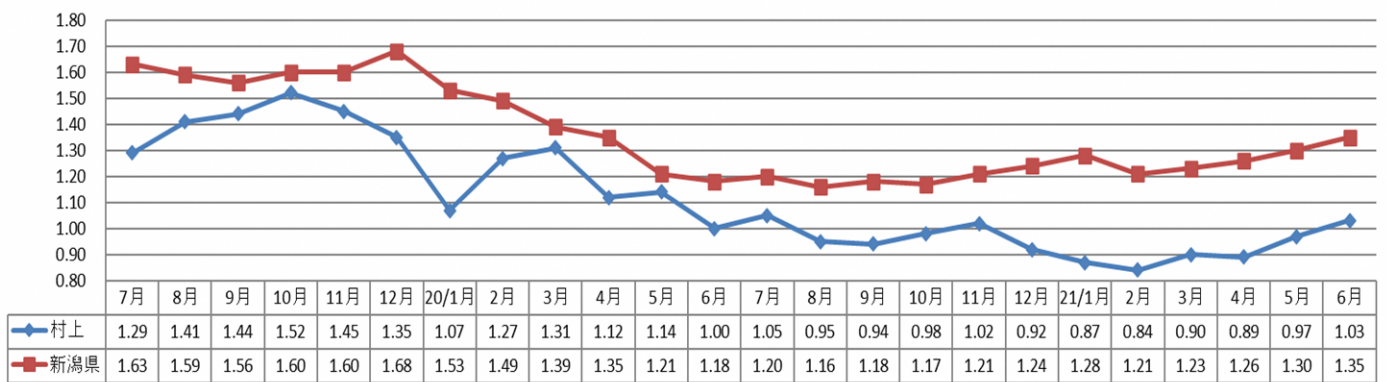


## 建築確認申請・工事届件数



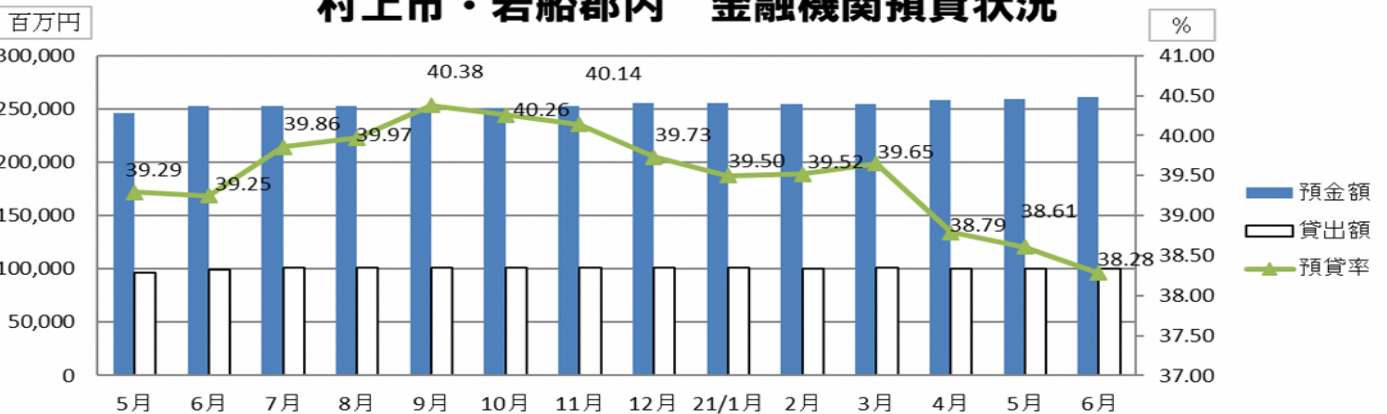
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

## 村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

## 村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



## 調査概要

調査時期	2021年6月中旬～2021年7月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:168社(回収率84.0%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) <2021.4-6実績・2021.7-9見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)